

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成24年7月12日(2012.7.12)

【公表番号】特表2012-502489(P2012-502489A)

【公表日】平成24年1月26日(2012.1.26)

【年通号数】公開・登録公報2012-004

【出願番号】特願2011-526369(P2011-526369)

【国際特許分類】

H 01 L 33/48 (2010.01)

G 03 B 21/14 (2006.01)

【F I】

H 01 L 33/00 4 0 0

G 03 B 21/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月23日(2012.5.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光源と、複数のピクセル(1)を配置した画像センサとを有するLEDプロジェクタであって、

各ピクセル(1)が少なくとも1つの光源を有しており、前記光源は複数のLED(2)である、

LEDプロジェクタにおいて、

前記LED(2)が種々の色に対する複数の層を上下に配置した積層エピLEDであることを特徴とするLEDプロジェクタ。

【請求項2】

前記積層エピLEDの、光形成のために設けられた前記複数の層は、上下方向にエピタキシャル成長されて、積層体(6)を形成している、請求項1記載のLEDプロジェクタ。

【請求項3】

前記ピクセル(1)の全ての色に対して、前記積層体(6)の表面に形成された同じ放射面が用いられている、請求項2記載のLEDプロジェクタ。

【請求項4】

各LED(2)は、赤色光に対する層と、青色光に対する層と、緑色光に対する層とを有する、請求項1から3までのいずれか1項記載のLEDプロジェクタ。

【請求項5】

複数のLED(2;14)の設けられたLED層(11,12,13)が設けられており、

前記LED層の下方に、支持体(5)あるいは第1の導体路(3)を備えた透明なガラスシート(9)が配置されており、

前記LED層(11,12,13)の上方に前記第1の導体路に対して横断方向に延在する第2の導体路(4)を備えた透明なガラスシート(9)が配置されており、

前記第1の導体路(3)および前記第2の導体路(4)は、各LED(2;14)が前記第1の導体路(3)および前記第2の導体路(4)を介して他のLEDとは別個に駆動

されるように、各 L E D (2 ; 1 4) の端子コンタクトに接続されている、
請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項記載の L E D プロジェクタ。

【請求項 6】

前記複数の L E D (2) はケイ素から成る支持体 (5) の上に配置されており、前記支持体 (5) には、各 L E D をそれぞれ他の L E D から独立に駆動するための複数の電気導体路が設けられている、請求項 1 から 5 までのいずれか 1 項記載の L E D プロジェクタ。

【請求項 7】

前記複数の L E D (2) には金属フレームコンタクト (1 0) が設けられており、該金属フレームコンタクト (1 0) によって前記複数の L E D (2) の電気的接続が形成される、請求項 1 から 6 までのいずれか 1 項記載の L E D プロジェクタ。